

日野郡で 農福連携事業が スタート!



収穫したブルーベリーに小枝など混じっていないか確認



収穫作業の様子

鳥取県では、平成22年から農福連携(農業と福祉施設の連携)に取り組んでおり、今年度からは各福祉保健局に農福連携推進コーディネーターを配置し、体制を強化しています。

こうした取組の中から、この度、日野郡で初のマッチング事例が生まれました。

江府町笠原原でブルーベリーを栽培している株式会社かわばた(代表取締役 川端雄勇氏)と南部町で障がい者就労支援施設を経営する特定非営利活動法人ノーム(理事長 吉田尚代氏)が連携して、8月5日(火)からブルーベリーの収穫作業を開始しました。

初日は、施設通所者4名が約2時間収穫作業を行い、今後も定期的にブルーベリー園に通いながら収穫作業を行っていく予定です。

日野振興センターとしても日野郡内で障がい者施設の農業分野での就労をより一層促進していきたいと思えます。

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2025 FAX:0859-72-2090

米子の農村青年 と交流

6月27日(金)に日南町にて、日野地区農村青年と米子地区農村青年会議との交流会が開催され、25名の農村青年と日野地区指導農業士や関係機関(JA・各町など)が参加しました。

午前中は、日南町の新規就農者(1ターンの)のトマトハウス栽培や白ネギの視察を行い、午後は日野、米子それぞれの青年の意見発表(就農のきっかけ、現在の経営内容、研修生に応募したきっかけ等)や意見交換が行われました。

農地確保の際には地域の信頼を得ることや栽培作物に適した農地を確保することの重要性などが話し合われました。また、指導農業士から「農地の確保も必要であるが、住居をセットで探し確保することも重要」、「農



業は自分が社長であり、自由な発想で仕事ができる。サラリーマンではなしえないことができる。」などの助言があり、参加者は見聞を広めることができました。

今後も他地域の農業青年と交流する機会を設けていきたいと思えます。

問 | 日野振興局 日野農業改良普及所 電話:0859-72-2028 FAX:0859-72-2090

日野高校生! オオサンショウ ウオ生態調査に 大活躍

日野川流域は特別天然記念物オオサンショウウオの生息地であることが知られていますが、これまで十分な生態調査が行われておらず、保護対策や種の保存に向けて取組が急がれているところです。

日野川の源流と流域を守る会では、次世代に日野川の重要性を認識してもらい、野生生物保護や河



岡田研究員と生徒達

川環境保全の意識向上を図ることを目的として、鳥取県日野地区連携・共同協議会と協力して、7月16日(水)に、地元の日野高校アグリライフコース1年生4名によるオオサンショウウオ生態調査を実施しました。

調査は、オオサンショウウオを長年研究されている鳥取大学工学研究科 岡田純研究員を講師に招き、日野町上菅から黒坂にかけての日野川本流と支流を対象に行いました。

オオサンショウウオは夜行性のため、調査を行った日中に見つけるのは困難とされていますが、



熱心に探す生徒達

高校生の根気強い搜索により何とか体長約27cmの若い個体を発見することができました。発見したオオサンショウウオは、体長や体重を計測した後、元の場所へ放流しましたが、今後の生態解明に向けて貴重なデータとなります。

今回の調査が、オオサンショウウオの生態解明と美しく豊かな日野川の自然環境の継承に貢献することを期待しています。

※なお、今回の調査は許可を得て行っています。



発見されたオオサンショウウオ

問 | 日野振興局 地域振興課 電話:0859-72-2080 FAX:0859-72-2072

